



学校でしか学べないこと

副校長 前多 紀子

学校が臨時休業に入ってから、2か月が経ちました。新学期を迎えたにもかかわらず、新型コロナウイルス感染症対策のために、今までに経験したことのない、臨時休業が続き、先が見えない真っ暗なトンネルを進むような暗い気分の中、気持ちも滅入ることが多かったように感じます。

そんな中、ある清涼飲料水のCMが目にとまりました。詳しく調べてみると、このCMでは中高校生が実際に集まって合唱する様子を撮影する予定だったのですが、新型コロナウイルス感染予防のために中止になってしまったので、撮影方法を変更して、それぞれが自撮りした映像をつなげたり、重ねたりしてCMを完成させたとのことでした。その結果、別々の場所で一人一人が心を寄せ合いながら歌った歌が、一つの合唱として見事なハーモニーを響かせていました。今のこの状況を悲観するのではなく、今できることは何かを考え、試行錯誤し、できることを着実にする。CMの撮影でも「今はみんなで集まって合唱はできない」でも「何か工夫したら少しでも良い作品をつくれるのではないかな」そんな作り手の熱い思いが感じられ感動を覚えました。

さて、学校でも同じことが言えるのではないのでしょうか。誰にもぶつけようのない怒りに心を乱されるのではなく、子供たちにとって今、私たち大人が、学校ができることは何か、創意工夫していくことが求められています。

小学校で身に付けさせたい力は多岐にわたりますが、その中でも「確かな学力」、「人間関係を構築する力」、「善悪をきちんと判断する力」の3つは非常に重要だと考えます。

コロナウイルスの問題が話題になり始めた当初は子供の居場所づくりが叫ばれていましたが、臨時休業の長期化に伴い、子供たちの学習の保障をどうしていくか課題になっています。各御家庭にお願いしている家庭学習で子供たちの学力をどう評価していくのか、また、臨時休業で削られてしまった時数の確保も今後の大きな課題です。また学力の保証とともに、もう一つの課題が学校でしか学べない「友達とのかかわり合い」の保証があります。子供たちは、友達とのふれあいを通して、人との関係づくりを学び、刺激を受け、それを成長の糧としています。今は人との接触をなるべく避けるよう自粛要請が出されており、友達とふれあう機会も減っている中、家族以外の人とかかわる場面は非常に少なくなっています。今後、学校が再開されても「三密」を避けるなど、教育活動に様々な制限や制約があることが予想されます。しかし、目の前の現実の課題にしっかりと向き合い、限られた時間、そして与えられた環境の中でいかに効率的に、学習内容を子供たちに身に付けさせることができるか、学校としても最大限の努力で創意工夫をしていかなければなりません。

どうか保護者の皆様におかれましても、この危機的な状況の中で不安を抱えていらっしゃると思いますが、子供たちの明るい未来のために、今私たち大人ができることをともに考えていただけたらと思います。

5月の今後の予定については現時点ではまだ決まっておりません。
詳細が決まり次第、三小メールや三小ブログで配信いたします。
ご了承のほど、よろしくお願いいたします。



離任した方からの言葉



6年間、子供たちの成長に喜びを感じながら、楽しく過ごさせていただきました。三小の子供たち、卒業生のみなさんありがとうございます。そして、保護者の皆様、地域の皆様、お世話になりました。どんなときも、明るい心で、お元気で。感謝の気持ちを込めて。
伊藤 由起子先生

国分寺市立第三小学校には、6年間お世話になりました。どの学年と一緒に勉強したときも、みんないつも一所懸命で、とても賢く、立派な子供たちだなあと感心していました。運動会や学芸会などの行事も、みんなと一緒に頑張り、とても楽しかったです。みんなが素敵な大人に成長していくのを期待しています。
小熊 泉先生

三小には7年間お世話になりました。いつも明るく礼儀正しい三小の子たちが大好きです。三小でしっかり学び、友達とたくさん遊んでください。私も新しい学校で頑張ります。ありがとうございました。
海老名 亜紀先生

私は10年間、三小でお世話になりました。楽しいことや大変なこともあった月日でしたが、子供たちと一緒に色々な経験や学びをすることができました。中学年、校庭の木々、草花や虫の観察では、子供たちの観察力に驚かされました。低学年、図書室の畳の上で寄り添って聞いた読み聞かせ、かわいかったなあ。4年生の校舎の端から音楽室までの教室移動、遠かった！私にとって、三小は思い出のつまった大切な学校です。また皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。ありがとうございました！
平尾 朱美先生

私は特に、子供たちとたわいのない話をするのが好きでした。それと、遊ぶことも好きでした。ドッチボールは燃えたなあ…。子供たちの成長をこれからも楽しみにしています。6年間、お世話になりました。
大井 恒太先生

三小には14年間お世話になりました。三小の子供たちと多くのことを学び合うことができ、幸せな毎日でした。これからも「よく学び、よく遊ぶ」子供たちの成長を楽しみにしています。ありがとうございました。
竹内 紅先生

私は1年5か月間お世話になりました。ありがとうございました。現在学校は、新型コロナウイルスいつもお世話になっております。ルスにより困難な状況にありますが、落ち着く日を待って、皆さんで生き生きとした楽しい学校づくりを頑張ってください。
小山 昌通先生

私が着任したのは9月、今、思えばあっという間の歳月でした。もう、子供達の元気な姿や笑顔に触れることができないのは、寂しいです。子供達からエネルギーをもらいながらの楽しい日々でした。ありがとうございました。
剣持 好克先生

7か月という短い期間でしたが、皆さんと一緒に過ごすことができ、とても楽しかったです。日々成長していく皆さんを見て、毎日元気をもらっていました。感謝しています。ありがとうございました。
伊藤 由美子先生

ぐるりと囲まれた四季の樹木たちに癒されながら、三小には3年間お世話になりました。児童の皆さんの学校生活に、少しでもお手伝いできていたら嬉しく思います。今までありがとうございました。
伊崎 明子さん

私は「どうせ仕事をするなら楽しくやろう」が今までのもっとうでした。三小の元気ある子供達とふれあえながら、楽しく仕事ことができました。そして、たくさんの元気をいただきました。子供たちに感謝です。ありがとうございました。
廣井 哲哉さん

みんなが作った素敵な作品を掲示している時、元気にお話してくれる子供たちと過ごせた日々はとても楽しく充実していました。短い間でしたが大変お世話になりました。本当にありがとうございました。
相澤 葉さん

三小人権コラム



校長 小林 卓

昨年1年間の取組から児童の「自尊感情」が高まり、「友達を手伝ったり助けたりしたい」という気持ちが育っているのが分かりました。今年は実践力を育む年です。見えない「思い」を見える「思いやり」に変えていけるよう、学校と家庭・地域とが協力して子供たちを育てていきましょう。